

vol.
642022年
5月13日発行

号外

日本郵便の今をつなぐ！

POST NEWS

社内報

ぽすくま
©JAPAN POST Co., Ltd

2021年度決算の発表について

社員の皆さんへ

依然として新型コロナウイルスの影響が続く中、国民生活のインフラとして、社会的使命を果たすべく、日々の業務運行にご尽力いただくとともに、社員の皆さんの入念な準備や創意工夫のおかげで、新しいかんぽ営業体制が本格的にスタートできたことに、心から感謝申し上げます。

本日、日本郵政グループの2021年度決算を発表しました。

当社（連結）の2021年度決算は、営業収益が3兆6,569億円（前期比▲1,807億円）、営業費用が3兆5,086億円（前期比▲1,739億円）となった結果、営業利益は1,482億円（前期比▲68億円）と前期から減益となりました。

なお、当期純利益は932億円（前期比+398億円）と増益となっていますが、これは、2020年度においてトール社のエクスプレス事業売却に伴う減損損失等を特別損失として計上した影響が大きいものです。

郵便・物流事業においては、ワクチン接種券等の一時的な差出増はありましたが、2020年度に巣ごもり消費で大幅に増加したゆうパックの減少等により減収となる一方、業務量に応じたコストコントロールの取組等を通じた費用の抑制により、営業利益は1,022億円（前期比▲214億円）となりました。

郵便局窓口事業においては、金融2社からの手数料の減少のほか、当期から適用となった収益認識基準の影響*により減収となり、各種費用を抑制したものの、営業利益は245億円（前期比▲131億円）となりました。

※収益認識基準の適用により、主に物販子会社におけるカタログ販売等に係る収益について、売上と仕入費用を相殺し、純額を売上として表示することに変更しています。（営業利益への影響はありません）

国際物流事業においては、フォワーディング事業が好調だった影響等により、営業利益（EBIT）は287億円（前期比+252億円）となりました。

また、2021年度中間決算公表時に、通期業績予想を、2021年5月に公表したもものから、営業利益を+600億円の1,400億円、当期純利益を+600億円の800億円に上方修正しておりますが、結果は営業利益1,482億円（業績予想比+82億円）、当期純利益932億円（業績予想比+132億円）と上方修正後の金額を上回る結果となりました。

このような結果を得られたことは、社員の皆さんの日々のご尽力の賜物であり、改めて感謝申し上げます。

しかしながら、この結果は決して安心できるものではないことを、全社員・役員が、改めて認識しなければなりません。郵便物数の減少、手数料の減少等の厳しい経営環境は、今後も継続する見込みであり、残念ながら、この傾向は、より一層加速する可能性もあります。そして、この厳しい経営環境に打ち勝つためには、2022年度の経営計画を着実に実行していくことが重要だと考えています。

郵便・物流事業では、荷物営業を更に強化してゆうパック・ゆうパケットを増やすことにより、利益額を積み上げていくことが極めて重要です。郵便局営業では、ファーストパーソン活動の更なる強化と管理者によるマネジメント力の向上、営業統括本部では、アカウント企業の管理を徹底して行うことにより、既存のお客さまの減少に歯止めをかけ、お客さまとの信頼関係を重ねることにより、更なる荷物の拡大に繋げていきます。

郵便局窓口事業では、例えば、生命保険や定額貯金の満期対応などでは、満期までご利用いただいたことに対する御礼を申し上げるとともに、保障ニーズ（かんぽ、がん保険等）や資産形成ニーズ（投資信託等）の有無を確認し、ニーズに合ったご提案を行い、ご利用に繋げてください。そのためには、お客さまにしっかりとご提案できるよう、一人一人が商品知識や手続の理解に努め、全社一丸となって営業目標を達成できるように、取り組んでいきましょう。

国際物流事業では、引き続きコスト削減に取り組むとともに、アジア市場を中心としたビジネスモデルへの転換により、成長を図っていきます。

これらの取組により、本日公表した2022年度の通期業績予想においては、経常利益950億円（前期比▲485億円）、当期純利益600億円（前期比▲332億円）を目指すこととしています。

この通期業績予想は、2021年度を下回る大変厳しいものとなっていますが、経営計画を着実に実行し、成果に繋げることで、今年度を成長の礎の年とすることができるはずです。

郵便局が、お客さまと地域を支える存在としてあり続けるため、全社員・役員が一丸となって、歩みを止めることなく取り組んでいきましょう。

2022年5月13日

代表取締役社長 衣川 和秀